

学校経営のポイント

## 授業再開と“新型インフルエンザへの対応”

若井 彌一

つゆあけぬ間に 暦もう秋 流行るインフル 堰を切り(都々逸)

この「教職研修資料」が学校等に配信されるころには、一部の学校で夏休み後の授業再開となることであろう。そして、9月からは、予定どおりであれば、全国の学校で授業再開となるはずである。ところが、一時「小康状態」のようにも思われた新型インフルエンザが、8月に入り急速に流行(感染)の動きを強めており、死者も出始めた。

### 厚労相「本格的な流行」と宣言

8月19日、厚生労働大臣は、新型インフルエンザの「本格的な流行」が始まったと宣言した(8月20日、各紙報道)。同日の厚生労働省の発表によれば、8月16日までの1週間に全国で662件の新型インフルエンザの「集団発生」が報告されたという。7月中旬以降、とくに下旬以降8月に入ってからの増加が顕著である。

新型インフルエンザの感染拡大の傾向と全国の学校再開が時期的に一致してしまっており、じつにアンラッキーなめぐりあわせである。

流行らぬがいい インフル・大麻 妙薬なくて 徒労感

新型インフルエンザの流行と大麻事件とはなにも関係ないが、おそらく平成21年の夏をふり返ったときに、この年の夏を印象づける2つの出来事ということになるであろう。

大麻問題には、ここでは言及しない。

最近数日の報道で注目されるのは、感染者のなかに死亡者と重症化した患者の例が出てきていることである。死亡者については、持病ありということだが、重症化している人々のなかには持病歴なしの人々

も含まれており、国民の間で新型インフルエンザ感染に対する精神的不安が増幅するおそれがある。説明の仕方は、児童・生徒にいたずらに精神的不安を募らせるような注意の促し方にならないように、言葉の使い方に配慮したい。

厚生労働省のHPで示されている「『インフルエンザかな?』症状がある方へ」によれば、現在(8月20日)も、「新型インフルエンザに感染すると重症になるのですか?」に対する答え(回答)は、「いいえ、ほとんどの方が軽症で回復しています」である。しかし、比較的詳細に及んでただし書き(省略)が加えられていることも踏まえておく必要がある。

### 保護者への情報提供と呼びかけが肝心

感染の拡大が見られるとはいっても、日本全国に蔓延しているような状態ではない。しかし、自校の児童・生徒が感染しないという断定も予想もできない。したがって、各学校での対応の基本は、感染を防止するために強調されてきた、手洗い、うがい、必要に応じてのマスク使用、咳の仕方(マナー)、などの徹底(感染防止努力)とともに、感染者が出た場合に学校が迅速にとるべき対応措置(迅速対応努力)という二面的方策であることに変わりはない。

このような児童・生徒に対する日常的指導の徹底を図るうえで、保護者へのタイムリーな情報提供は非常に大切である。

厚生労働省、文部科学省、県(教育委員会)、市区町村等からの行政通知の内容の要点を情報提供してやることは、新型インフルエンザに関する理解を促すだけでなく、保護者の学校への信頼感を高めるうえでも有益である。

(わかい・やいち=上越教育大学長)

●最新刊好評発売中! 教育開発研究所【編】 B6判 270頁・定価2,100円 教育開発研究所  
『教育の最新事情がよくわかる本』 知っておきたい教員としての最新知識!

■好評発売中! 教職大学院の課題と展望、理論と実践、全国教職大学院ガイド等を網羅!  
『全国教職大学院年鑑 '08-'09』 A5判 170頁・定価2,100円